年間授業計画(令和5年度)

東京都立 東 高等学校

科目(単位数)	体育 (3単位)
対象学年・(組・コース)	第3学年男子 (123456)
使用教科書(出版社)	現代高等保健体育(大修館書店)
副教材等	

	学期		学習内容	学習の目標・留意点	学習活動(具体的に) 「読解力」「言語力」 「論理的思考能力」の育成
1 学期9)時間		前半	・領域選択①,② ・領域選択 A (体つくり運動,体育理論含む)	・ゴール型では、状況に応 に関する。 ・ボール型では、状況空間を がでは、などする。 ・ネット型では、状況にして がでは、大力には、大力にない。 ・ネッドール操作と連携だった。 ・ネッボーツを間を展開する。 ・コースポーツを意識し、 をは、大力には、大力には、大力には、大力には、大力には、大力には、大力には、大力に	・グループ学習で自他の技能ついて話し合い考える。 ・技術などの名称やゲームの行い方を理解して自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できる。
	· 明 ·9) 寺	後半	・領域選択①,② (継続) ・領域選択 A (継続) ・水泳	・ゴール型では、状況に応へにでは、状況に応いたボール型では、状況空間を開いたがある。 ・ネット型では、状況ににしたが、ないが、とがでは、やの関では、大力ににしたが、では、からでは、からでは、からでは、自己には、からができる。 ・水流の効できるようにする。 ・水流のができるようにする。	・グループ学習で自他の技能ついて話し合い考える。 ・技術などの名称やゲームの行い方を理解して運動とでである。 は独立では、できるの課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できる。

2 学 期	前半	・水泳 ・領域選択③,④ ・領域選択 B (体つくり運動,体育理論含む)	・水泳では、自己に適した泳 法の効率を高めて,泳ことができるようにする。 とができるようにする。 ・ゴール型では、状況間ににないできるようになどかられば、状空間を関では、大空間を関では、大力にないですがある。 ・ネット型では、状安定とは、大力ル操作と連携では、大力ル操作と連携では、大力ル操作と連携でする。 でする。	・グループ学習で自他の技能ついて話し合い考える。・技術などの名称やゲームの行い方を理解して自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できる。
(42) 時間	後半	・領域選択⑤,⑥ ・領域選択 C (体育理論含む)	 ・ゴール型では、状況に応じたいでは、状況に応いるとうにない。 ・えいとからにする。 ・ネット型では、状況に応応に、大力をとからにする。 ・ネット型では、状況定にしたの関連を作りを表したがでする。 ・ニュースポーツを意識したできる。 ・ニュースポーツを意識した活動及び実践を学ぶ。 	・映像資料を利用して種目への理解を深める。 ・グループ学習で自他の技能ついて話し合い考える。 ・技術などの名称やゲームの行い方を理解して自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できる。
3 学期 (24) 時間		・領域選択⑤,⑥ (継続) ・領域選択 C (継続) (体育理論含む)	・ゴール型では、状況に応じ たボール操作となりを 侵入などからにする。 ・ネット型では、状況に応し できるよ型では、状況ににした ル操作と連携だった 用具で空間を作りなることが でする。 ・ニュスポーツを意識した を選及び実践を学ぶ。	・グループ学習で自他の技能ついて話し合い考える。 ・技術などの名称やゲームの行い方を理解して自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できる。

評価の観点・視点

- ・ 種目に対して主体的に取り組んでいる。
- ・ 技能を向上するために仲間と協力して取り組んでいる。
- ・ 技能テスト,授業態度により総合的に評価する。

年間授業計画(令和5年度)

科目(単位数)	体育 (3単位)
対象学年・(組・コース)	第3学年女子 (123456)
使用教科書(出版社)	現代高等保健体育(大修館書店)
副教材等	

学期		学習内容	学習の目標・留意点	学習活動(具体的に) 「読解力」「言語力」 「論理的思考能力」の育成
1 学期(39)時間	前半	・領域選択①,② ・領域選択 A (体つくり運動,体育理論含む)	・ネット型では、状況に応じた用具の操作と連携した動きでは、とびきる。 空間を作りだすなできる。 ・ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間開でを展開であるようにする。	・グループ学習で自他の 技能ついて話し合い考 える。 ・技術などの名称やゲー ムの行い方を理解して 自己の課題に応じた運 動を継続するための取 り組み方を工夫できる。
	後半	・領域選択①,② (継続) ・領域選択 A ・水泳	・ネット型では、状況に応に 大沢にした 大沢にした 大沢にした 大沢にした 大安に 大学したができる。 ・ゴールと では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学である。 ・ゴールがらする。 ・水泳のかっては、本語のできる。 ・水泳のかっては、本語のできる。 ・水泳のかっては、大学では、本語のできる。 ・水泳のかっては、大学では、大学では、大学では、大学では、大学のできる。 ・水泳のできる。	 ・グループ学習で自他の 技能ついて話し合い 考える。 ・技術などの名称やゲームの行の課題について重動を継続するとの取り組み方を 大できる。

		• 7k ýzk	・水泳では 自己に適した泳	・ ガループ学型で自研の
2 学期 (42) 時間	前半	・水泳 ・領域選択③,④ ・領域選択 B (体つくり運動,体育理論含む)	・水法のでは保護のでは、大きなので、状をのでで、大きなが、これのでは、大きなが、これのでは、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが	・グループ学習で自他の 技能つい 考える。 ・技術などの名称やゲームで自己の ではでするとの名称やがしての ではでする。 ・技術などの名称では ではない方を理解になる できる。 ・映像資料を利用して を して を の理解を深める。
	後半	・領域選択 C (体育理論含む)	具の操作と連携した動きで 空間を作りだすなどの攻防 を展開することができる。 ・ゴール型では、状況に応じ たボール操作と空間への侵 入などから攻防を展開でき るようにする。	・グループ学習で自他の 技能ついて話し合い 考える。 ・技術などの名称やゲームの行い方を理解して で自己の課題にある で運動を継続するための取り組み方を工夫できる。
3 学期 (24) 時間		・領域選択⑤,⑥ (継続) ・領域選択 C (継続) (体育理論含む)	・ネット型では、状況に応じたポット型では、状況に応じた用具の操作や変定した動きで整備した動きでではなどができる。・ゴール型では、状況にの侵入などから攻防を展開できるようにする。	・グループ学習で自他の 技能ついて話し合い 考える。 ・技術などの名称やゲームの行い方を理解して は、なの記憶を理解して を運動を継続するための取り組み方を工 夫できる。

評価の観点・視点

- ・ 種目に対して主体的に取り組んでいる。
- ・ 技能を向上するために仲間と協力して取り組んでいる。
- ・ 技能テスト,授業態度により総合的に評価する。